

## 令和元年度 奈良県知事賞

「森林を守るために」

奈良教育大学附属中学校 二年 土井 央翔

地球温暖化の影響で、長雨やゲリラ豪雨といった異常気象が発生している。日本の地形は、急な山や急勾配の川が多く、自然災害を起こしやすい特徴がある。

奈良県は約八割が森林である。祖母が住む町は、その山の中のカーブが多い道 را走り、峠を越えて数時間、こうしてやっと着く。その道のりは大変であるが、一番心配なのは道路を塞ぐ土砂崩れだ。この道は県内でも土砂崩れが多い国道で、迂回路はない。しかし、土木事務所の迅速な対応で、早ければ当日か翌日には通れるようになるのでありがたい。この国道は、母が子供の頃今のようにきれいに整備されておらず、狭いところが多くて、事故が多発していたそうだ。それから何年もかけて工事をして、新しい広い道路やトンネルをつくり、ずいぶんと通行しやすくなったのである。これもみんなが納めた税金のおかげだから、感謝している人は多いはずだ。

こういった道路の整備は税金でまかなわれている。道路が塞がれると、日常生活に支障をきたす以外に流通がストップしたり、警察や消防・医療など命に関わることにも影響が出るのだ。それだけ道路は大切な存在だと思った。

土砂崩れの原因として、林業従事者の高齢化や減少で森林の整備が行き届かないことがあげられる。森林には土砂災害の防止だけでなく、きれいな水を作ったり、地球温暖化の原因の一つである二酸化炭素を吸収したり、多様な生物のすみかがあったり、人に安らぎや感動を与えるなどの役割がある。荒れた森林が増えると、このような役割が果たせなくなるので、成長した木を十分に利用していかなければならないと思う。

そのため、奈良県では独自に「奈良県森林環境税」を集めており、手入れをされずに放置されて荒れてしまった人工林などを整備することや、森林環境教育、森林生態系の保全などに活用している。このことを知って、森林をみんなの環境資源として認識し、森林を守り育てていくために、集めた税金を使うことは、私たちが豊かで安心して自然と共に暮らせる未来のためだと思った。

誰もが様々な税と関わって生活していることに気づき、未来を担う私たち一人一人が税や税の使い道に関心をもって考えることが大切なのである。